

平成23年度

## 中間自己評価結果

( 資料 )



平成23年10月12日(水)

北九州市立高須中学校

〒808-0147

北九州市若松区高須北一丁目1番1号

(TEL) 093-741-2310

(FAX) 093-741-2318

## 1 「学校評価システムの構築」を目指して

本校は、「学校評価の取組は、評価結果に一喜一憂するのではなく、学校よさや特色を明確にし、積極的に発信することにより、学校の伝統として育てていくことにある。」と考えています。また、本校は、学校評価の取組を通して、保護者や地域の皆さんに学校の現状と取組に対する理解を得ることができ、そして、学校を共に良くしていくための前向きな方策をまず学校が考え発信していくことが、これからの新しい時代における学校と家庭・地域の在り方として求められていると考えています。

過去の研究から、本校は、学校評価に対する基本的な考え方が以下の3点であると考えています。



### 本校の学校評価に対する基本的な考え方

- (1) 学校評価＝学校経営診断ではありません。学校評価は、学校の改善点を探し出すためだけに行われるものではありません。
- (2) 学校評価の主体は、あくまでも学校です。
- (3) 学校評価は、情報発信のひとつです。
  - ① 「自己評価項目」は学校が具体的に取組もうとする宣言文です。
  - ② 「保護者アンケート」や「生徒アンケート」は生徒と共に育てていこうという学校からの情報発信です。

また、本校は、次の点に留意して学校評価に取り組んでいきます。

### 「学校よさや特色」を発信する学校評価

- ① 「学校の取組を宣言し、学校の意欲を発信する」自己評価の取組
- ② 「目指す生徒像と学校像を発信する」保護者アンケートの取組
- ③ 「学校よさや特色を発信し、伝統として育てていく」学校評価の取組
- ④ 「学校の応援団づくり」を目指す学校関係者評価の取組

本校は、「学校評価の取組は、評価ポイントの高い項目を、学校と保護者、地域が共通理解して学校よさや学校の特色として伸ばし、さらに伝統として育てていくことにある」と考えています。今まで、学校評価結果の分析は、比較的、評価ポイントの低い項目に目が奪われがちであり、改善の方向を示して取り組むことに重視する傾向がありました。そのため本校は、評価ポイントの高い項目こそ、学校よさや特色としてとらえ、本校の伝統として積極的に情報発信していきます。

また、本校は、保護者の皆さんにご協力頂いている「保護者アンケート」を通して、目指す子ども像と目指す学校像を発信しようと考え、現在、取り組んでいます。

5月11日(水)PTA委員総会【左】、6月8日(水)PTA理事会【右】の様子。

毎回、瀧川家光新会長、役員・理事の皆さんをはじめ、たくさんの皆さんにお越しいただいております。これこそが、高須中学校の「元気の源」です。PTAの力強い風に帆をふくらませ、本校は、元気いっぱいに出発することができました。



## 2 本校の学校評価年間計画

本年度から、本校は、「学校のよさや特色を積極的に発信する」という視点に基づき、学校評価を、一年間、次のように取り組んでいきます。

「学校のよさや特色を発信する」学校評価年間計画			
月	自己評価の取組	保護者・学校関係者評価の取組	本校のよさや特色の発信
4月	・校長が学校経営方針を示す。	○学校運営説明会の開催 ・学校の教育目標 ・本年度の重点目標・学校評価の取組	○校長通信と学校ホームページにて、学校経営方針を発信する。
5月	・中長期目標の達成に向け、各分掌ごとに短期目標・指標等、自己評価項目の案を検討する。 ※自己評価項目 ・評価基準・教職員自己評価 ・保護者アンケート ・生徒アンケート		
6月	・各分掌から出されたを自己評価項目を検討・調整し、決定する。	○第1回学校関係者評価委員会の開催 ・学校の教育目標・重点目標 ・学校評価の取組・自己評価項目を説明し、意見を求める。	○自己評価項目で、学校の取組を宣言する。
7月	○中間自己評価の実施 ・教職員自己評価 ・保護者・生徒アンケート	○PTA理事会 ・学校評価の取組 ・自己評価項目を説明する。	○「(中間)保護者アンケート」で、「目指す子ども像」を発信する。
8月	・中間学校評価の結果に基づいた教育活動の改善策を検討する。		
9・10月		○PTA理事会 ・中間自己評価の結果 ・結果の考察との改善策を説明する。 ○学校関係者評価委員への情報発信 ・中間自己評価の結果・結果の考察との改善策を発信し、意見を求める。	○「(中間)保護者アンケート」の集計結果から、本校の保護者力と生徒のよさや特色を発信する。 ○校長通信やホームページにて、中間自己評価の結果と考察、学校の改善策を保護者や地域住民に発信する。
12月	○最終自己評価の実施 ・評価基準 ・教職員自己評価 ・保護者・生徒アンケート		○(最終)保護者アンケートで、「目指す生徒像・学校像」(本年度の最重点課題)を発信する。
1月	・最終自己評価の結果に基づいた考察、次年度へ向けた教育活動の改善策を検討する。 ・自己評価結果報告書を作成する。		
2月	・学校関係者評価の結果から次年度へ向けた教育活動の改善策を再検討する。	○学校運営報告会の開催 ・最終自己評価の結果 ・次年度へ向けた改善策を説明する。 ○第2回学校関係者評価委員会の開催 ・最終自己評価の結果と考察 ・次年度へ向けた改善策を説明し、意見を求める。 ○学校関係者評価結果報告書の作成 ・学校の自己評価について ・教育活動その他の学校運営の改善に向けた取組についてなど	○(最終)保護者アンケートの集計結果から、本校のよさや特色を発信する。 ○自己評価結果報告書で学校の意欲を発信する。 ○校長通信・ホームページにて、自己評価結果報告書と学校関係者評価報告書を保護者や地域住民に発信する。
※通年			○常時、学校を開放する。 ○月1回以上(年間20回以上)の重点課題解決に向けた学校開放、指導主事を要請した研究授業を公開する。 ○校長通信「ジャガイモ」の週1回の発行と、校区内の全地域住民へ回覧する。 ○学校ホームページを月1回以上、更新する。

## 2 中間自己評価の保護者アンケート・生徒アンケートから見える本校の特色

本年度、大変お忙しい中、中間学校評価に570人(85.1%)もの保護者の方にご協力いただきました。心からお礼申し上げます。

本校が考える学校評価の視点「学校評価の取組は、評価ポイントの高い項目を、学校と保護者、地域が共通理解して学校よさや学校の特色として伸ばし、さらに伝統として育てていくことにある」から分析すると、次のような学校よさ・特色を見出すことができます。

まず、本校が自慢できる保護者力として、「朝食」の項目を取り上げることができます。

※ 以下の数値は、(保護者ポイント)【生徒ポイント】を示します。平均は2.5ポイントです。

### 高須中学校の保護者力

#### ① 朝食を食べて登校 (3.7)【3.7】

【給食・食育】今後とも、月1回の「食育だより」などで、「食」の大切さを啓発していきます。そして、いよいよ本年度4月から本校でも完全給食がスタートしました。高須小学校と青葉小学校で調理していただき、保温食缶で配送されています。現在、生徒会厚生委員会を中心に、牛乳パックの減量化と残食の減量化の推進、給食で使用されている食材の情報を放送で毎日発信しています。

保護者の皆様にも給食の様子を知っていただくために、7月1日(金)、保護者の皆様を対象にした給食試食会を開催いたしました。まず、配膳員 宮田菊江 先生のお仕事、給食の検温・サンプル保存・食器の配置【左下】などを見ていただきました。また、給食時間の生徒の皆さんの様子も見ていただきました。次に、青葉小学校の栄養教諭 藤原恵美子 先生に学校給食についてのお話【中下】をしていただき、最後に試食【右下】をしていただきました。生徒の皆さんのスムーズな動きや先生方のご指導にとっても感心していただきました。



また、7月6日(水)、PTA文教委員会が主催する第1回家庭教育学級が開催され、藤原先生に「成長期と食」と題して、「成長期を迎えた中学生にとって、『食』がいかに大切であるか。身体と心の健康のために、欠かせない栄養とは。」などのお話を頂きました。

4月12日(火)に行われた給食のリハーサルの様子。新しい配膳室に行儀よく並んで給食や食器を受け取りに来る生徒の皆さん。生徒も先生方も少し緊張気味【左上】4月14日(木)給食の開始。リハーサルや事前の研修の成果で、予想以上にスムーズに流れました。上手に副食を注ぎ分ける3年3組の皆さん【中上】「いただきまーす！」3年生にとっては2年ぶりの給食。お弁当の時間と違う雰囲気3年5組の皆さん【右上】私にとっては40年ぶりの給食。思わず「美味しい！」と笑顔。



今後とも、本校は、保護者の皆様と連携を図りながら、「食育」を一層推進して参ります。

7月6日(水)に行われたPTA文教委員会主催の第1回家庭教育学級の様子。青葉小学校の栄養教諭 藤原恵美子 先生の楽しいお話に聞き入るPTAの皆さん【左下】 第2回以降も楽しい企画満載の家庭教育学級です。本年度の家庭教育学級生の皆さん【中下】食が進めば、会話が弾む。会話が弾めば、心も弾む。給食時間、笑顔が大盛りの特別支援学級の皆さん【右下】



また、今回のアンケートで、生徒の皆さんのよさや特色が見えてきました。これらのよさや特色を、学校と保護者や地域の皆様方が連携して、学校の伝統として育てていきましょう。

※ (保護者ポイント) 【生徒ポイント】

### 本校生徒のよさ・特色

② 身なり	(3. 5) 【3. 6】	③ 挨拶	(3. 2) 【3. 3】
④ 忘れ物をしない	(3. 2) 【3. 1】	⑤ 学校の清掃	【3. 2】
⑤ 時間を守る	【3. 2】	⑥ 読書習慣	(2. 9) 【3. 1】

本校は、生徒の皆さんが社会人として自立するために、「挨拶・掃除・身なり」の3つのマナーを身に付けてもらいたいと考えています。中間学校評価では、「挨拶」(3. 2) 【3. 3】、学校での掃除【3. 2】、「身なり」(3. 5) 【3. 6】の高いポイントを得ることができ、生徒の皆さんの姿勢の中に、確実に定着してきているように思われます。今後も一層の推進を図るため、生徒会の皆さんとの取り組みを強化し、生徒の皆さんの自主的な活動を組織していきたいと考えます。

**【挨拶：生徒指導・生徒会】生徒会執行部の活動で朝の挨拶運動を今後も適切に位置付け、一層の推進を図ります。**



生徒会執行部は、本年度初めて「挨拶標語コンクール」に取り組みました。生徒会執行部のコメントを紹介します。

「生徒会執行部では、毎週水曜日に挨拶運動を行っています。それに加えて、今年度は『挨拶推進運動』を新たに開始しました。今後もいろいろな活動を行い、高須中学校を元気の挨拶一杯にしたいと思います。今回の標語は、校内で発表され、今年一年間の挨拶標語になります。



「おはようございます。」毎週水曜日の朝、正門と中央昇降口付近で、生徒会執行部の皆さんの爽やかな挨拶が響き渡ります。元気の挨拶は、高須中学校の伝統です【上・下】生徒昇降口に掲示された「あいさつ標語コンクール」入賞作品【左下】



これからも、挨拶を大切に、高須中学校を元気あふれるよりよい学校にしていきたいと思います。  
「あいさつ標語コンクール」入選作品を紹介します。

### あいさつ標語コンクール2011

- 3年生
  - 最優秀賞 「あいさつは 心の種の 水やりだ」 (3年3組 Mさん)
  - 最優秀賞 「あいさつは 相手がいるから できるんだ」 (3年6組 T君)
- 2年生
  - 最優秀賞 「高須から 笑顔のあいさつ 広げよう」 (2年2組 Kさん)
  - 優秀賞 「おはようと 言った分だけ 良い日かも」 (2年2組 T君)
- 1年生
  - 最優秀賞 「おはようと 気がつけば 口ひらいてた」 (1年4組 Yさん)
  - 優秀賞 「あいさつは 皆が知ってる 愛言葉」 (1年3組 Mさん)
- ありがとう賞 「ありがとう ちゃんと言える 人になる」 (2年1組 S君)

【掃除：清掃指導】清掃に対する意識を高めていくために、職員が模範となって清掃指導に取り組みます。美化委員会の活動で日々の清掃指導、学期末の大掃除などで、清掃活動の自主性を向上させます。また、本年度の2学期以降、高須小学校と青葉小学校、PTAや地域の方々と連携して、地域清掃活動に取り組みます。



7月15日(金)に行われた学期末大掃除の様子。生徒総会で美化委員会が紹介した「Sの字」雑巾がけは、本校の伝統です。校長室前廊下を、「Sの字」雑巾かけする3年1組の皆さん【左上】率先師範する先生方【中上・右上】ワックスがけをするために、教室の床を丁寧に清掃する3年生の皆さん【左から順に3年7組・3年2組・3年5組】

【身なり：生徒指導】生徒会生活委員会を中心に、登校指導中や朝の会、授業中などで呼びかけを行うとともに、服装点検等を今後も適切に位置付け、一層の推進を図ります。

また本校は、生徒の皆さんに「確かな学力」を身に付けさせるためには、まず、学習規律や集団規律の確立を図ることが大切であると考えています。中間学校評価では、「時間を守る」【3.2】、「忘れ物をしない」(3.2)【3.1】のポイントを得ることができ、生徒の皆さん意識が高まってきているよう思われます。

【忘れ物：教務】学校は、家庭学習への意識を高めるために、学習道具を毎日持ち帰るように指導しています。また、各学年や各教科ごと、学習委員会などで忘れ物点検を行い、指導の徹底を図ります。

【時間を守る：生徒指導】教職員は今まで通り始業の合図と同時に授業を開始するとともに、生徒会生活委員会の活動で遅刻点検を行うなど、今後も適切に位置付け、一層の推進を図ります。

また、昨年度から本校は、「学校図書館の機能の充実と計画的な利用を推進し、望ましい読書習慣の形成を図る。」ことを目標とし、次のような「学校における読書活動推進モデル事業」に取り組み、図書館の環境整理と図書整理、積極的な図書館の開放を進めています。

### 学校における読書活動推進モデル事業（2年目）

- ◎ 学校に配置された学校図書館嘱託職員とブックヘルパーが学校図書館運営業務を行う。
- ◎ 学校図書館嘱託職員が、司書教諭、ブックヘルパー、図書委員に対して指導助言し、関係者が一体となって学校図書館を運営することができることを目指す。
  - 学校図書館を常時開館を目指す。
  - 図書を読みやすく居心地のよい学校図書館の環境整備する。
  - 図書について、生徒への情報提供や相談活動を行う。
  - 学校図書館を活用した授業を推進する。
  - 放送を通して図書の啓発活動を積極的に行う。

昨年度から本校は、学校図書館嘱託職員 日野陽太郎 先生にお越しいただいております。また多くの方々にブックヘルパーに登録をいただき、日野先生とブックヘルパーの皆様のお力で、居心地のよい図書館の環境づくり、図書館の常時開館に取り組んでいます。

本年度、その成果が認められ、柏木修教育長、毛利浩課長が視察に来られました。また、10月14日（金）には、本校の図書館で、「学校における読書活動推進モデル事業」の研修会が開催され、市内の多くの先生方がお越しになります。

今までに図書館を開館した場合、平均60名の生徒の皆さんが、また多い時には100名もの生徒の皆さんが来館し、本を借りています。その結果、中間学校評価では、「2週間に1冊程度本を読む」「1ヶ月に1冊以上本を読む」答えた生徒の合計が77%に達し、読書意欲が向上した生徒が増えてきました。

図書館職員 日野陽太郎 先生とブックヘルパーの皆さん。大変お忙しい中、ご協力いただき誠に有り難うございます【上】本校の取組を視察に来られた柏木教育長と毛利浩課長【右】生徒会図書委員会の皆さんによる本の貸し出しの様子を視察される教育委員会の皆さん【左下】日野先生の数々のアイデアに感心される教育委員会の皆さん【右下】

本校は、生徒の基礎学力の向上や道徳教育・人権教育・生涯学習の視点から読書習慣を身に付ける必要があると考えています。今後ともご家庭と連携して取り組んで参ります。



【読書習慣：図書館教育】本年度も本校は、全校一斉の朝の10分間読書に取り組み、生徒の読書習慣の定着を図っています。

昨年度から、ブックヘルパーの皆さんのご協力を得て、常時開館できる体制を整えています。また、生徒の皆さんに読書に親しんでもらおうと、本の配置図を掲示したり、新着図書の紹介を行っています。今後も、図書館便りを発行するなど、生徒へのレファレンスサービスの充実を図っていきます。

昼休みや放課後には可能な限り図書館を開放していますが、利用回数についてはまだ個人差が見られます。今後とも、図書館の積極的な利用を全校生徒に啓発していきたいと思えます。



生徒会図書委員会と図書館教育担当の先生方【上】読書に親しむ生徒の皆さん【左か順に2年2組・2年4組・2年3組】

また、北九州市では、「北九州市子ども読書プラン～読書好きな子ども日本一をめざして～（平成23年6月制定）」のなかで、下記事業を重点事業の一つとして実施しています。

### 「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の取組み

この事業は、「子ども読書の日（4月23日）」にちなみ、毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と定め、学校、家庭、地域、図書館が一体となって、市全体で子どもの読書を推進するものです。

- 各家庭に「読書の日」マグネットを配布します。
- このマグネットを毎月23日にあわせて掲示していただき、お子さんと一緒に本を読み、感想を話し合う時間を持ってください。
- テレビやゲームなどを一休みして、本に親しんでください。

### 3 2学期以降の検討課題及び改善点

本校は、生徒のよさ・特色として今後一層育てていきたい項目として以下の項目を考えています。

※（保護者ポイント）【生徒ポイント】

#### ※ 本校生徒のよさ・特色として今後一層育てていきたい項目

- |          |               |          |               |
|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 家庭の清掃  | (2. 3) 【2. 6】 | ② 家庭学習習慣 | (2. 4) 【2. 4】 |
| ③ 早寝・早起き | (2. 9) 【2. 6】 |          |               |

特に平均ポイント2.3を下回っている項目「家庭での掃除」や「家庭学習習慣」につきましては、保護者の皆さんとも連携して、取り組んでいきます。

## ① 家庭での掃除

本校は、学習規律や集団規律を定着させるためには、まず環境の整備が大切であると考えています。本年度も、生徒と教職員が一体となって校内の環境整備に取り組んでいます。しかし、家庭での掃除の習慣が身に付いている生徒はまだ少ないようです。今後とも保護者の皆さんとも連携して清掃の習慣化を図って参りたいと思います。

**【清掃指導】アンケート結果を、「校長通信ジャガイモ」等で情報発信するとともに、PTA理事会等で意見交換を行うなど、保護者の皆さんと共に取り組んで参りたいと考えています。**



4月、満開の桜と手入れの行きとどいた緑道の花々が、生徒の皆さんを迎えてくれます。地域の皆様方のお陰です【上】校務員の中嶋勇二先生が丹精込めて育てられた校門前の花壇の花々が新入生を迎えてくれます【左】本校の憩いの場である中庭。芝生の手入れをされる中嶋先生【中】剣道部員による朝の地域清掃活動の様子【右】

## ② 家庭学習の習慣

家庭学習の習慣については、「家庭学習を週7時間以上する」「家庭学習を週3時間以上7時間未満する」と答えた生徒の合計が45%で、半数以上の生徒が週3時間未満の家庭学習しか行っていません。今後も学校では、各教科ごとに家庭学習での課題の出し方等を工夫していきますが、保護者の皆さんとも連携して家庭学習の習慣化を図りたいと考えます。

**【教務】今後も各学年や各教科ごとに学習課題の出し方を工夫・改善し、家庭学習習慣の定着を図ります。家庭学習の習慣を身に付けるためには、次のポイントを大切にしてください。**



6月、若松区・戸畑区保健体育科全員研修会（授業者 矢野聖隆先生：2年5・6組男子）。電子黒板を活用した「ごみ処理のスペシャリストになろう！」の研究授業風景。

### 家庭学習をつけるポイント【中学生の家庭学習の目安は、90分】

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ① 毎日「机に向かう」習慣を | ② 時間を決めて、まずは宿題を |
| ③ すすんで予習と復習を   | ④ 持ち物の準備は前日に    |

※「家庭学習のススメⅡ」（北九州市教育委員会）より

また本校は、研究主題「全ての子どもに基礎学力を定着させることを目的とした学習活動の工夫」をもとに、全教科が指導主事を要請する研究授業を行い、学習指導法の工夫改善を図っています。

### ③ 早寝・早起

福岡県家庭教育推進協議会から配布された「家庭教育のすすめ」によれば、「早く寝る子どもの方が、学習意欲が高い」という傾向が見られるそうです。夜更かしは、「朝寝坊→慢性の時差ぼけ→眠れない」という悪循環をまねき、疲労感や食欲低下、体調不良につながります。早寝早起きをすると、体内時計がリセットされ、体のリズムが整い、1日を意欲的に過ごすことができると言われています。今後とも保護者の皆さんとも連携するとともに、生徒の皆さんへ啓発していきたいと思ひます。

**【保健指導】**中学生は夜11時までには寝るようにしましう。また朝は、自分で起きるようにしましう。これが自立の第一歩です。今後も保護者の皆さんと共に考え、取り組んでいきたいと思ひます。